

## アスベストとは

鉱石の中で繊維状の形態を有する天然鉱物で6種類（クリソタイル、クロシドライト、アモサイト、アンソフィライト、トレモライト、アクチノライト）があります。不燃性、柔軟性、耐薬品性、絶縁性、耐食性と優れた材質であることから、多くの材料に使用されてきました。

## アスベストの有害性

アスベストは安定性が高く、一旦肺に入ると体外に排出されずに長期滞留します。繊維状でなくとも肺に沈着する大きさであれば有害です。なお、有機溶剤のような皮下吸収、経口リスクは大きくはありません。アスベストが原因となる主要な病気は以下のとおりです。

- ①石綿肺：肺が線維化する。他の鉱物性粉じんでも発病することがある。
- ②肺がん：肺胞内に取り込まれた石綿繊維による物理的刺激で肺がんが発生する。  
発病には喫煙が影響を及ぼすといわれる。
- ③中皮腫：肺膜や肝臓、胃の腹膜の中皮にできる悪性の腫瘍。

## アスベストの危険度と用途

- ①危険度レベル1：著しく高い（最も危険）  
主要構造部への吹付耐火被覆。吹付石綿、石綿含有吹付ロックウール、吹付ひる石など。
- ②危険度レベル2：高い（施工方法によってはレベル1と同等）  
設備配管、煙突、屋根裏、天井裏等の耐火被覆。石綿含有けい酸カルシウム板2種、煙突石綿断熱材など。
- ③危険度レベル3：比較的低い  
石綿吸音板、スレートボード、ビニル床タイルなど
- ④レベル外：比較的低い  
石綿含有シール材など

ここで、アスベストの危険度とは作業時の飛散しやすさの目安です。